

# 事業評価シート（平成27年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	来館出来ない人への図書館サービス事業		
事業担当	社会教育部 中央図書館		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'02	②<感性> 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	'03	3 幅広い芸術・文化活動を普及・促進する	
根拠法令等			
対象・受益者	図書館に来館出来ない市民	事業期間	
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: ボランティア】		
	目的・目標		事業の概要
図書館へ来館出来ない人が読書の楽しみを知り、知る自由の保障が図られています。		図書館に来館できない人のために移動図書館車等を活用し、入所施設等への出前図書館等を実施します。また、障がいのある方に対して、郵送等により資料の貸出を行います。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	登録団体数(平成27年度から)	単位	団体
	説明・算定式	幼稚園・保育所・ろう学校・老人福祉施設・地域文庫等の登録団体数		
		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績			84
活動指標②	指標名	来館が難しい方の登録者数(平成27年度から)	単位	人
	説明・算定式	視覚障がい等により図書館に来館が難しい方の登録者数		
		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績			24
成果指標①	指標名	関係施設・団体への貸出回数(平成27年度から)	単位	回
	説明・算定式	幼稚園・保育所・ろう学校・老人福祉施設等		
		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績			100
成果指標②	指標名	来館が難しい方への貸出点数(平成27年度から)	単位	点
	説明・算定式	視覚障がい者等への貸出点数		
		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績			160
進捗状況	①: 予定どおり			
	遅れている理由			
平成27年度の主な取組と成果				
出前図書館については、訪問施設数、巡回回数ともに減少しましたが、移動図書館車の駐車スペースが確保できずに出前図書館を利用できなかった施設に対して、駐車スペースのある近隣施設において出前図書館を実施し、幅広く利用できるようにしました。また市内の団体に対して移動図書館書庫の資料を貸出す団体貸出を実施し、団体の支援に取り組みました。視覚障がい者への郵送貸出サービスについては、貸出件数は160点(平成26年度は177点)を貸出しました。				
平成27年度の検証結果	B: おおむね成果があがった			

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	移動図書館の個人利用者は、平成27年度に延べ8,895人あり、移動図書館車を活用したサービスは必要とされています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	図書館から遠くにお住まいの方や、保育園等に通う子どもたちに対して、図書館サービスを提供することで、利用者の満足度を高めます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	対象としては、保育園児・老人施設入居者・障がい者等としています。これらの方は来館による図書館利用が難しいため、訪問や郵送により、資料を提供する必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	移動図書館の巡回については、ルートや停車時間の見直しにより、さらに効率的な運行を行える可能性があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 移動図書館車を利用した出前図書館は、車の特性上から利用できる施設や団体に限りがあります。今後は出前図書館のほかに団体が書庫の資料から選定して貸出を行う団体貸出の利用を促進することで来館できない人へのサービスの充実に努めます。 障がい者サービスについては、利用者の希望に応じた資料を増やすとともにサービスの周知を図ります。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		移動図書館による施設等訪問貸出、目の不自由な方への郵送サービス	移動図書館による施設等訪問貸出、目の不自由な方への郵送サービス	移動図書館による施設等訪問貸出、目の不自由な方への郵送サービス等
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	3,460	3,589	3,307
事業費 (A)		3,460	3,589	3,307
執行率 (%)		99.31	99.36	98.13

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針
駐車スペースが無いことや、隣接道路が狭いなどの理由で、移動図書館車が敷地に入車できず、出前図書館サービスが受けられない施設に対して、移動図書館書庫の資料を貸出す団体貸出を含めてサービス方法等を検討し、団体の利用を増やします。
課長コメント
何らかの事情で図書館に来館できない方や図書館から遠い地域の学校・公民館に出向き図書の貸出を行い、また目の不自由な方への郵送サービスを実施することにより、知る自由の保障という目的に沿った事業を展開しています。今後も、スペース等の都合で移動図書館車が入車しづらい場所へのサービスなどについて、取組の拡大を検討します。